

石狩市地域福祉に関するアンケート調査(案)

令和6年度

封筒のあて名のご本人がお答えください。

Web 回答は、こちらの二次元バーコードから。(アカウント登録不要)

I あなたご自身のことについてお聞きします。

※「I-4 家族構成」以外の回答は、いずれか1つに○をつけてください

I-1 性別 1 男性 2 女性 3 その他または無回答

I-2 年代 10 歳代 20 歳代 30 歳代 40 歳代
50 歳代 60 歳代 70 歳代 80 歳以上I-3 居住地区 1 生振 2 北生振 3 新港 4 樽川 5 八幡 6 緑ヶ原
7 花川東 8 花川北 9 花川南 10 花川 11 花畔 12 緑苑台
13 本町 (本町・船場町・弁天町・横町・新町・浜町・仲町・親船町・親船東)
14 志美 15 美登位 16 厚田区 17 浜益区I-4 家族構成 ※同居のご家族がいる場合、該当する番号すべてに○をつけてください。
1 本人 (あなた) 2 配偶者 3 子 (未就学児) 4 子 (小学生) 5 子 (中学生)
6 子 (高校生) 7 子 (その他) 8 父 9 母 10 祖父 11 祖母
12 兄弟姉妹 13 孫 14 その他 ()

I-5 居住地区での通算居住年数 1 年未満 1~3 年 4~10 年 11~20 年 21~30 年 31 年以上

I-6 住宅の種類 1 持ち家 (一戸建て) 2 持ち家 (集合住宅) 3 賃貸住宅 (一戸建て) 4 賃貸住宅 (集合住宅)
5 寮・施設・グループホーム 6 その他 ()

I-7 通勤・通学先 1 市内 2 市外 3 通勤・通学していない

II 日常生活や「地域福祉」について

地域福祉とは？

「地域福祉」とは、住み慣れた地域の中で、誰もが自分らしく日常生活を送れるよう、市、社会福祉協議会、地域住民、事業者など、あらゆる人・団体が協力し、支え合うまちづくりを進めていくことです。

II-1 近所の人とどの程度お付き合いがありますか。(いずれか1つに○)

- 1 困っているとき、相談や助け合いができる 2 簡単な頼みごとならできる
-
- 3 あいさつする程度の付き合い 4 ほとんど付き合いはない

II-2 日常生活の中でどのようなことに不安を感じていますか。(考えが近いもの3つまでに○)

- | | | |
|---------------|----------------------------------|---------------|
| 1 自分の健康のこと | 2 家族の健康のこと | 3 子どもを生み育てること |
| 4 身内の介護のこと | 5 自分自身の介護のこと | 6 収入や家計のこと |
| 7 生きがいや将来のこと | 8 日中ひとりであること | 9 近所とのつながりのこと |
| 10 緊急時の連絡のこと | 11 災害時の備えのこと | 12 住まいの確保のこと |
| 13 交通手段の確保のこと | 14 自宅周辺の環境衛生(騒音・振動・悪臭・ごみ問題など)のこと | |
| 15 特になし | 16 その他() | |

II-3 日常生活で福祉的な困りごとが生じた場合、どのようなところから情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------------------|------------------|-----------|-----------|
| 1 市役所・保健福祉センター・支所 | 2 社会福祉協議会 | | |
| 3 地域包括支援センター・ケアマネジャー | 4 教育機関(子ども園・学校等) | | |
| 5 社会福祉施設 | 6 医療機関 | 7 自治会・町内会 | |
| 8 民生委員・児童委員 | 9 家族や親戚 | 10 新聞・雑誌 | 11 広報いしかり |
| 12 テレビ・ラジオ | 13 インターネット・SNS | | |
| 14 どこから情報が得られるかわからない | 15 特に困ったことはない | | |
| 16 その他() | | | |

II-4 日常生活で困っていることをだれ(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------------|---------------------|-----------------------|--------|
| 1 家族や親戚 | 2 友人 | 3 学校や職場の先生・知人 | 4 近所の人 |
| 5 町内会関係者 | 6 民生委員・児童委員 | 7 市役所・保健福祉センター | |
| 8 社会福祉協議会 | 9 医療機関 | 10 地域包括支援センター・ケアマネジャー | |
| 11 福祉サービス事業者 | 12 ボランティア団体・NPO法人 | 13 インターネット・SNS | |
| 14 相談できる相手はいない | 15 自分の困りごとを他人に相談しない | | |
| 16 その他() | | | |

II-5 日常生活を送る上で手助けしてほしいと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 通院、買い物などの外出の手伝い | 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援 |
| 3 ごみ出しなどのちょっとした力仕事 | 4 夏季の除草作業や冬季の除雪作業 |
| 5 見守り・安否確認 | 6 日常的な話し相手・困ったときの相談相手 |
| 7 急病などの緊急時や災害時の手助け | 8 地域行事への参加や協力 |
| 9 子どもの預かり | 10 気軽に行ける自由な居場所づくり |
| 11 子どもの通学路の見守り | 12 特になし |
| 13 その他() | |

II-6 身近な地域での住民同士の支え合いは必要だと思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 思う 2 どちらかというと思う 3 あまり思わない 4 思わない

II-7 身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うためにどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域の支え合い、助け合い活動の意義・重要性の普及啓発
2 住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり
3 地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実
4 地域での相談支援体制の充実
5 住民同士の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進
6 ボランティア活動の機会の充実と活動への支援
7 学校や社会教育の場での福祉教育の充実
8 地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成
9 その他 ()

II-8 あなたが手助けできると思う地域での支え合い活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 通院、買い物などの外出の手伝い 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
3 ごみ出しなどのちょっとした力仕事 4 軽易な除草作業や除雪作業
5 見守り・安否確認 6 日常的な話し相手・困ったときの相談相手
7 急病などの緊急時や災害時の手助け 8 地域行事への参加や協力
9 子どもの預かり 10 気軽に行ける自由な居場所づくり
11 子どもの通学路の見守り 12 特にない
13 その他 ()

II-9 地域福祉活動をより活発にしていく上で必要な条件はどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 好きなときに活動できること 2 子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること
3 自宅に近い場所で活動できること 4 活動時間がそれほど長くないこと
5 同世代の人が多くいること 6 くわしい知識や高度な技術を必要としないこと
7 お金がかからないこと 8 活動に対する安価な報酬
9 特に条件となるものはない
10 その他 ()

Ⅲ 「地域福祉」を進めていくために

Ⅲ-1 あなたの住んでいる地域には、福祉に関わるどのような問題・課題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 住民同士のつながり (つながりが薄いなど)
- 2 高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯に関する問題
- 3 高齢者や障がい者の介護をしている家庭に関する問題
- 4 子育て環境に関する問題
- 5 ひとり親家庭に関する問題
- 6 ニートや不登校、ひきもこりに関する問題
- 7 ケアラー・ヤングケアラー^(※)に関する問題
- 8 防犯・防災などの問題
- 9 生活困窮に関する問題
- 10 特にない
- 11 その他 ()

(※) ケアラー・ヤングケアラーとは？

「ケアラー」とは、高齢、障がい、疾病などにより援助を必要とする親族など身近な人に対して無償で介護、看護、日常生活上の世話や援助をしている方であり、そのうち18歳未満の方を「ヤングケアラー」といいます。

Ⅲ-2 困りごとがあったときに、相談できる場所、支援を受けることができる環境等が整備されていると思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらともいえない(わからない)
- 4 あまり思わない
- 5 思わない

Ⅲ-3 地域福祉を推進するにあたって、あなたの考え方は次のどれに近いですか。(いずれか1つに○)

- 1 基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合は行政が支援する
- 2 行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである
- 3 行政の責任であり、住民や団体が協力することはない
- 4 わからない
- 5 その他 ()

Ⅲ-4 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 どちらともいえない(わからない)

Ⅲ-5 災害時に住民が支えあう地域づくりに何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域での定期的な避難訓練
- 2 地域での勉強会や話し合い
- 3 災害時に手助けが必要な方の名簿整備
- 4 日常からの見守り活動
- 5 手助けが必要な方のマップづくり
- 6 わからない
- 7 その他 ()

IV-3 民生委員・児童委員が行う活動について知っていましたか。(いずれか1つに○)

- 1 名前も活動もよく知っている
- 2 名前は知っているが活動はよく知らない
- 3 名前も活動も知らない

IV-4 民生委員・児童委員が行う活動について知っている活動を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域住民の相談に乗り必要な助言や援助を実施
- 2 社会福祉施設等との連絡調整
- 3 福祉事務所等の関係行政機関への協力
- 4 独居や寝たきりの高齢者等や要援護者の把握・訪問・情報提供
- 5 災害時に援護が必要な人の状況把握等
- 6 知らない

V 成年後見制度について

成年後見制度とは、認知症・知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者(成年後見人等)を選び、本人を法的に支援する制度です。具体的には、本人に代わって財産管理や福祉サービス等の契約を結ぶなどの行為を行います。

V-1 成年後見制度を知っていましたか。(いずれか1つに○)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない

V-2 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいですか。(いずれか1つに○)

- 1 利用したい (V-3 へ)
- 2 利用したくない (V-4 へ)
- 3 わからない (V-4 へ)

V-3 「利用したい」と答えた方にお聞きします。成年後見制度を利用することになった場合、だれに後見人になって支援してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者や子どもなどの親族
- 2 弁護士や司法書士などの専門職
- 3 社会福祉法人などの団体
- 4 市民後見人^(※)
- 5 わからない
- 6 その他 ()

(※) 市民後見人は、市町村等が実施する養成研修を受講するなどして必要な知識を得た一般市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した方です

V-4 「利用したくない」または「わからない」と答えた方にお聞きします。「利用したくない」または「わからない」と答えた理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 制度の内容や利用方法がわからない
- 2 制度を利用する際の手続きが複雑そうである
- 3 他人に財産管理を任せることに抵抗がある
- 4 利用するための費用がかかる
- 5 制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい
- 6 特に理由はない
- 7 その他 ()

